



小豆島国際ホテル・ベイリゾートホテル小豆島 採用サイト

RECRUIT WEBSITE

<http://arg-shodoshima.jp/recruit/>

RECRUIT WEBSITE

メッセージ メンバー紹介 採用情報 よくあるお問い合わせ

メンバーソー
介
働く先輩たちにインタビュー!

100人いれば100通りの価値観を大切にしたい

#1 安齋みのり #2 田部聖仁 #3 福田熙子 #4 河野夢七
#5 調俊峰 #6 野田トゥラ #7 佐藤航 #8 戸真奈

WEBサイト
だけに載っている
情報もあります!

QRコード

入社1年目でも、頑張り次第で「やりたい」を実現できる環境
今年も一緒に働ける仲間を募集します

ベイリゾートホテル小豆島 公式HP



<http://bayresort-shodoshima.jp>

小豆島国際ホテル 公式HP



<http://www.shodoshima-kh.jp>

RECRUIT BOOK LOVE & PEACE SHODOSHIMA Vol.2

Angel Resort Group Shodoshima | 小豆島国際ホテル × ベイリゾートホテル小豆島



小豆島国際ホテル

ベイリゾートホテル小豆島
BAY RESORT HOTEL
SHODOSHIMA

Love & Peace

あなたに夢はありますか?
あなたにとって幸せとは何ですか?
豊かさとは何ですか?

世の中が目まぐるしいスピードで変わり、人の価値観は多様化しています。
だからこそ、100人いれば100通りの価値観を大切にしたいと考えています。

私たちには大きな夢があります。
そのために、乗り越えなければならない壁がたくさんあります。

1人でも多くいろいろな人にかかわってもらいたい。
大きな夢と自分の夢を持った人に仲間になってもらいたい。

もし、豊かな土地で暮らしながら働く事があなたの幸せなら、
私たちと仲間になりませんか?一緒に挑戦しませんか?

いつもお待ちしています。

コーポレートメッセージ

私たちは、瀬戸内海に浮かぶ小豆島のリゾートホテルグループです。
小豆島はもちろん、瀬戸内海の島々は、
どこもとても素晴らしい、キラキラ光るものがあります。

私たちは、瀬戸内の繁栄なくして小豆島の繁栄はないと考えており、
瀬戸内小豆島の未来に挑戦しています。
瀬戸内最高峰のリゾートエリアを造成し、世界発信していくと共に
地域の子供たちの可能性を広げるための活動をしていきます。

未来の子どもや孫たちも、この島を「いいね」と思えるように。

海や山など自然があふれたこの島を、新鮮な魚や野菜が食べられるこの島を、
人間味があふれ安心して暮らせるこの島を、自信を持って誇れるように。
私たちはこれからもずっと挑戦を忘れずに
瀬戸内・小豆島を引っ張っていくリーディングカンパニーであり続けます。



入社した年に クリスマスイベントを企画

クリスマスにはロビーでサンタクロースになって、バルーンアートをしたりお菓子を配ったりしました。イベントの提案を企画して、上司に手伝ってもらいながら、形にしていました。クリスマスの日は忙しいので抜けることは気が引けたんですが、「この時間帯なら大丈夫」「この日はシフトは抜けてもらって片付けだけお願い」と言ってもらって、お菓子を詰めたり、バルーンアートを作ったり、準備からやらせてもらいましたね。

今を全力で頑張って、振り返ったら 楽しかったというのが理想

今を全力で頑張って、振り返ったら楽しかったというのが理想。今は不満も特になく楽しく島暮らしをしています。『終わり良ければ総て良し』だと思っていて、今を全力で頑張って、振り返ったら楽しかったということが理想。料飲部に配属になった後、2018年

2月からweb予約担当の部署異動をしましたが、週に1度程度、料飲にもはいっています。フロントも入っているので、一番マルチタスクで働いているかもしれません。部署変わった直後はしんどかったです。仕事が複雑になると身体も頭も全部覚えていく必要がある。不器用なほうなので、今は学習中で必死ですが、ゆくゆくは楽しくなっていくと思います。

ポジションごとの立場を理解し それぞれの強みを活かすための パイプ役

今の課題としては、努力をする人しか認められない自分がいるので、これを後輩に押し付けないこと。マルチタスクをしていることで、色々な所に立つと色々な目標で物事を見る事ができる。全体が見れると、ポジションごとの立場がわかる。自分は、その上で第3の案を出して、それぞれの強みを活かして、パイプ役になれたらしいなと思っています。



北海道出身、中学の時に香川県へ引っ越し。20代。小豆島によく遊びに来ていて、たまたま参加した就職説明会で小豆島の会社があるなと思い入社。



中国・大連出身、30代。大学で学んだ観光マネジメント(まちづくり)が活かせると思い入社。

大学のフィールドワークがきっかけで小豆島に興味を持つ

25歳の時来日し、福岡の日本語学校に入学。その後、大阪の専門学校を経て、4年制大学で観光マネジメント(まちづくり)を学びました。大学3年の時、自ら立案して『観光を通じて移住者を増やす』というテーマでゼミのフィールドワークを小豆島で行いました。一度大阪に帰り、結果をまとめて、2回目に小豆島に来て観光協会や役場などに報告を行った際、小豆島国際ホテルの求人を伺いました。その後、大阪で就職するか、小豆島で就職するか検討しました。漠然と、大阪で就職するなら旅行会社かな、小豆島だったら小豆島国際ホテルかなと思って、ネットで検索しました。ネットで小豆島国際ホテルにエントリーシートを送って、面接のときに2時間くらいお話しして、率直にいい会社だなと思いました。自分が学んできた専門スキル(観光マネジメント・まちづくり)も活かせると思いました。

小豆島で、 世界のリゾートブランドを作る夢

理想は、小豆島で世界のリゾートブランドを作りたい。自分の学んできた観光まちづくりが、ここでならできそうです。最近自分の親が定年退職をしました。もともと、家族と一緒に暮らしたいと思っていた、矛盾はしているのですが、まだ親も元気なのであと10年くらいはここで自分の夢を追いかけようかなと思っています。僕は日本に来て人生が変わりました。そして夢が増えました。ぜひ外国の方も就職してほしいと思っています。日本の文化を身に着け、仕事や生活それぞれに目標ややりがいを見つけて一緒に頑張っていけばと思います。

小豆島にいつの間にか居ついた自分

「島に住みたい」という想いから、島限定で仕事をしていました。12年前に派遣社員で小豆島に来て、数か月働いて、そのまま小豆島に居ついた感じ。ここに荷物を置いて留学やワーキングホリデーに行ったりして、トータルで2年くらいは島から離れていました。何年か前に正社員になって、島の人と結婚して。ベイリゾートホテルから小豆島国際ホテルのほうに異動になりました。



今は、お天気が良かったら 島から出るのがもったいない

小豆島はいはいなるほど、いたくなる島。始めに来た時と、今と、過ごし方や暮らし方は変わってきましたね。来たばかりの頃は、みんなでワードと遊んだり、高松に出たりしていました。小豆島は、すぐ外に出られますし、ネット通販や郵便物もすぐ届くし、ちょうどよく過ごしやすい場所ですからね。今は、島から出なくなりました。物欲も無くなりました。お天気が良かったら島から出るのがもったいない。春の桜や、新緑の時期なんか、島の移り変わる美しい景色が見れない損した気分になります。だから休みの日も、ほとんど島で過ごしていますね。



北海道出身、30代。島が好きで北海道・沖縄の島で働いた後、派遣社員としてベイリゾートホテルで働き、そのまま時給社員に。現在は正社員として働いています。

新入社員 佐藤 航



Q1

1年働いてみて自分の仕事に満足してるか、良かった事、悪かった事、成功、失敗など教えてください

佐藤 まだ基礎を学んでいる段階ですが、部署を変わったりしてやることは増えている。そこが楽しみ。1年間じて色々な企画や提案をさせていただいて、それが実行できているので、続けていきたい。頭ごなしに否定されるのではなく「やってみて」と言われる環境だったのが良かったなと思います。

野田 今やっている仕事に関してやりがいは感じていて、お客様と接している時は楽しくて幸せ。失敗した事は沢山あるけれど、言い出したらキリがないので割愛します(笑)

安齋 小豆島内の自分が観光した所をお客様に提案できるのは、行ったことがあるからこそ。定番の観光地以外も行ってみたいと思っているお客様に、色々な場所を提案できるのは自分が経験したからですね。失敗した事は、なるべく忘れるようにしています。

井上 今みんなの話を聞いて、みんな来るきっかけは島が気になっていたり、島での生活に憧れたりしたことやね。日常生活で島に住んでいるからこそ、それが観光に生きてくる特殊な環境なのかなと感じました。僕自身も島が好きで、学生の頃にも何十回も来ていて、今それが仕事と直結しているのはみんな近くのかなと思っています。

Q2

立場的にはリーダーになっていくと思うけれど自分としてはどんなリーダーになりたいですか？

井上 立場的な役職が付いているリーダーと、能動的な自分がリーダーであろうというリーダーと2つあって、こうやってチームをまとめていきたいというのがあれば教えてほしいです。

佐藤 あまり否定せず、一緒にやろうとか、任せるねとか、縛らずにやっていけるようなチームになりたいです。自分自身の課題ですが、ひとつの物事に対して色んな人が色々意見を持っているので、押しつけすぎず、知識としては教えられるようになって、きちんとまとめていきたい。副支配人から否定されずに「やってみたら？」と言ってもらっているように、自分もそうやっていきたいです。

野田 チームではたらくというのが、みんな協力あってのことだと思うのだけれど、個々の能力と一緒に伸びていくからだと思うので、自分が教えることを伝えたり、それぞれの能力を伸ばしていくような指導の仕方ができたらいいなと思います。

安齋 私はリーダーというよりはみんなで、チームの中で一緒にやっていく感じで、やることに関しての事柄については、私はリーダーだけれど、トップに立って下が付いてくるというよりは、チーム全体で輪になって一緒にやっているほうが理想。私はこれやるから、あなたはこれやってみたいなスタイル。できればリーダーのサポート役のほうが、自分も好きだし活かせる気はします。

Q3

これから次のスタッフが入ってきますが後輩にどういったことを伝えたいですか？

安齋 私は体力が続く限り遊んでほしいなと思います。特に料飲部でAC勤務（朝食と夕食のシフトで中抜けがある勤務体系）だと、中抜けの時間を寝るだけに使うのはもったいないかなと。1週間のうち何日かでもいいから、外に出て新しいことを吸収してほしい。仕事の中で教えられることは教えるので、それ以外でプライベートでも違う所を見つけてほしいかなとは思います。

野田 私は、それぞれの個性を伸ばしていくともいいなと思います。

佐藤 僕は、島という特殊な環境下に来て思ったことや新鮮な気付きを教えてほしいなと思います。そういう目標を大事にしつつ、仕事は仕事なので、何事もきちんと前向きに捉えて頑張ってもらえたと思います。

新入社員 野田トゥイラ



Q1

1年過ごしてみてどうでしたか？

福田 継続することの大切さを学びました。「あれやろう、これやろう」と始まったはいいけれどその時だけで気付いたら無くなっていたものも多々あったので、続けられたらすごいことになったんじゃないかなと。逆に続けて良かったものもありました。

岡根 はじめることは簡単だけれど、続けることは難しいよね。

劉 僕は、日本人の仕事の真面目さを感じました。各部署の報連相（報告・連絡・相談）、勉強になります。大事なことです。

河野 ただひたすら新しいことを学び続けました。見えてきたものは自分の力量とか、何が必要とされているかとか、今現場で必要な仕事はどんなことかとか色々学んだと思います。自分のことでも全体のことでも。

田部 僕は裏方から接客に入って、単純に好きですけど難しいなと。料理を出すスピードだったりお客様と話す内容だったり。時間帯によって違ったり。継続ということともつながるけれど、当たり前にするということがこれだけ難しいんだな。

岡根 やっている人間からすると難しいことではないのだけれど、習慣になっているか、センスを持った人を見て「あの人すごいな」と思って、自分を見直す時間を持つかどうかがポイントになってくると思ってます。

新入社員
劉 俊峰

Q2

更なるレベルアップに必要なことは何ですか？

河野 時間（＝余裕）ですかね。ひとつのことに対して時間が無すぎて、全部中途半端。作りたいもの、やりたいことが日々の業務に追われてできない。後輩にももっと時間をかけてあげたい。

劉 勉強ですね。幅広いですが、日本人レベルの日本語、仕事に関する知識、将来必要となるくるもの。1ヶ月1冊の本を読みたいと思っています。日々忙しい中で、実際むずかしくてスピードが遅くなっている。僕の場合は、余裕が欲しいというよりは、メンバー（＝同じ同志）が欲しい。

田部 夏会メインで入っているのでそちらの話になりますが、大きく言うと経験。ある程度こういう時はこういう準備をしてこうするというのが、いくつかはできているけれど、新しいことがポンと入ってきた時に、処理するのが難しいです。

岡根 みんな明確な「コレ」が見えているので、時間がかかるとしても克服できる気がします。

新入社員

田部聖仁



Q3 大きな成功、大きな失敗はどんなことがありましたか？

劉 島めぐりMAPを作ったときに無くなりました。作って良かったと思いましたし、もっとヤル気になりました。新入社員の教育は、とても難しいと感じています。

福田 私は派遣スタッフさんにきつく言い過ぎて帰られてしまったこと。難しいと思いました。

岡根 失敗でも成功でも、経験こそが次に生きてくる。同じことが起こった時、言葉の選び方はすごく変わると思う。福田さんだったら、次は優しくしなきやと思うと思う。できるだけ色々な経験、成功でも失敗でもいいから、次につなげるためには考える、自分を見直すことがとても大事だよね。

新入社員
福田熙子

Q4 この会社で変えてみたいこと爪痕を残したいことは？

岡根 自分は、今までの管理型から、自分たちがやりたいと思ったことをサポートできるような、リーダーのもとで自由に動けるような、働きやすいチームを作りたい。

田部 お客様や派遣さんに「来年も来たい」と思ってもらえるような状態になりたいなと思います。

福田 私は、外国の人が、気持ちよく働ける環境を整えたいと思っています。自分が海外で働いた経験から、日本人スタッフの気持ちも、外国人スタッフの気持ちもよくわかる。1回国外で働いてみたらわかる気持ちも沢山あると思う。だから、お互いにとつてうまくいくような体制を作っていて思っています。



新入社員
河野夢々
安齋みのり

岡根 今回のことがきっかけとなって自分たちが自分について考える時間が取れたのかなと思っています。自分を見つめ直す時間があるのとないのでは全然違う。振り返って目標設定ができたなら、気持ちがそこに傾きやすいよね。今日はありがとうございました！



ホテルではじめての ワーキングマザー管理職

入社した21歳の頃は、結婚して出産したらすぐ辞めるつもりでした。実は入社3年後に転職して別の仕事をしたことがあるが、うまくいかず戻ってきた出戻り組。結局ここで働く人が良かったのかと思います。26歳で結婚、その後2度の出産。復帰後、新しく課長職のボストができた時に昇進しました。子どもがいて、朝来て夕方には帰るし、昇進を告げられたときには自信がなくて「無理です」と答えたんです。結局説得されて課長職に就きましたが、やっているうちに「できるかな?」と思い始めました。接客が好きで、周りが状況を理解してくれて、現場の仕事で、特に困った事はなかった。女性上司だからこそメンバーも相談しやすいかもしれません。ベイリゾートホテルで初めてのワーキングマザー管理職となりました。

体調を崩して時給社員で働く毎日

数年、課長職として働いた後、頭痛と吐き気に襲われるようになり、体調を崩して時給社員に変更しました。管理職まで経験し、時給社員になることは最初割り切れなかったのですが、今は子どもと一緒にいる時間が増え、子どもも喜んでくれるし、子どもと一緒にいたいなと思うようになりました。思えば、夫は仕事で家を空けることが多く、いつも、母やママ友に子どものお迎えを頼む手配に必死でした。正直、これからることはわからない。色々なことに葛藤中というのが本音。一番忙しい土日にないことで、居づらい気持ちもあるのは事実ですが、融通を聞いてもらっていることは感謝しています。



小豆島出身、30代。21歳で入社し、2人の出産を経て課長職に。現在は時給社員として働く。

やりたい事ができる環境
意見を言いやすい環境づくり

#05

やりたい事ができる環境 意見を言いやすい環境づくり

料飲部で約5年働いた後、2015年より副支配人となりました。当ホテルはやりたい事ができる環境だと思っています。自分が思った事を相談しやすいですし、「まずやってみよう」という雰囲気ですね。次のステップとしては、下から意見が上がるようにならうと思ってます。石の上にも三年ということわざもありますが、基礎を身に着けて幅が広がっていけばと。理由があって「やりたい」と手を上げた子にはできるだけ色々なことを経験させてあげたいですし、失敗してもいいよ、バックアップするよという気持ちでいます。



岐阜県出身、30代。大手リゾートホテルグループで10年間働いた後、前の上司に誘われてベイリゾートホテルに入社。

ライフスタイルに合わせて 働きやすい職場

働き方改革の一環で「マルチタスク」を進めています。今までなら部署ごとに仕事がわかっていましたが、お客様の忙しい時間に合わせて、朝食会場に出て、客室整備をし、チェックイン時にお客様をご案内するといったような体制づくりです。ライフスタイルに合わせて、働きやすい職場になっていけたらと思っています。

親戚がない環境で父親に

最近、子どもが生まれました。シフト制で公休もとりやすいので、今のところ、予防接種や検診などには全て一緒に行っています。夫婦ともに県外出身で近くに親戚もないので、奥さんの負担を減らしたいという想いからです。自分が先に経験している分、できるだけ若手の要望は聞いてあげたいと思いますし、和気あいあいと楽しく働けたらと思っています。

周りの人たちに助けられた新人時代

高校時代、小豆島の観光地でアルバイトをしていました。接客業がいいかなと軽い気持ちで入社を決めました。最初はどうしてもしんどかったです。新人として入社してくれる方たちもみんな年上で、その人たちを教えるというプレッシャーがありました。周りの人たち本当に助けてもらいました。

頑張ったら誰かが見てくれることが自信に



2017年、会社が推奨していたマルチタスクを頑張ったということで「年間表彰」を受けました。頑張っていたら誰かが見てくれている、評価してくれるということが自信につながりました。今年、短大や専門学校に進んだ同級生が仕事をはじめました。観光業で皆が休んでいる時がホテルの忙しい時。遊べる時期に遊べない。皆が遊んでいる時間と、私が遊べる時間が合わない。そういう気持ちもありますが、たまたま早番の日に遊びに行ったり、会社の人とご飯に行ったりしています。



小豆島出身、20代。高卒で「島に残ろうと思い」、接客業で家からも近かったため入社。

これからも楽しく仕事をしたい

社会人として、仕事はしないといけないと思っているので、次したい事が決まるまでは、ここで頑張ろうかなと思っています。仕事には慣れました。フロントなのでクレームを受ける事もあります。「若いな」と言われることもあるので、しっかりせなと思っています。職場は楽しいですよ。これからも楽しく仕事をしたいと思っています。

I Love Shodoshima

小豆島の 暮らしをご紹介



小豆島って実際どんなところ？
そう思っている人も多いのではないでしょうか。
小豆島に住んでいる私たちが
素敵なところを少しだけ写真でご紹介！



旬の美味しい食材を
いつでも食べることができます



季節の移ろいを感じながら
暮らしています



通勤中も仕事中も
美しい景色に癒されます



農村歌舞伎や虫送り、秋祭りといった
地域の伝統文化に囲まれて暮らしています



豊かな島の仲間との
出会いも嬉しい！



高松までは高速艇30分
フェリー60分
意外とアクセスがよく
島外にも遊びに行きます



オシャレなお店も
沢山できていて
行くのが楽しみ！



Waku × Waku
Hataraku！

I'm looking forward to meeting new people.